

# 【ChatGPTブームを受け緊急調査！】AI開発担当者の約8割が「課題」や「壁」を実感 「AIに精通する人材確保」と「精度の改善」が上位2つに

～一方で半数以上が課題・壁に対して、具体的な対策を実施できていない実態～

AI開発・運用、DX人材育成を提供する株式会社SIGNATE（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齊藤 秀、読み方：シグネイト、以下 SIGNATE）は、AI開発業務に携わる担当者102名を対象に、AI開発における課題調査を実施いたしましたので、お知らせいたします。

## 調査サマリー

### AI開発における課題調査

TOPIC 01

AI開発担当者、**約8割**がAIの開発に携わる中で、「課題」や「壁」を感じた経験あり

TOPIC 02

AI開発における課題や壁、  
第1位「AIに精通する人材の確保」**65.8%**、  
第2位「精度の改善」**62.0%**

TOPIC 03

一方で**半数以上**が課題・壁に対して「具体的な対策が実施できていない」実態

SUMMARY

▼本調査レポート資料のダウンロードはこちら

<https://go.signate.jp/material-dl-aidev>

## 調査概要

調査主体：株式会社SIGNATE

調査時期：2023年4月19日～同年4月20日

調査方法：インターネット調査

調査対象：AI開発業務に携わる担当者102名

調査機関：株式会社IDEATECH

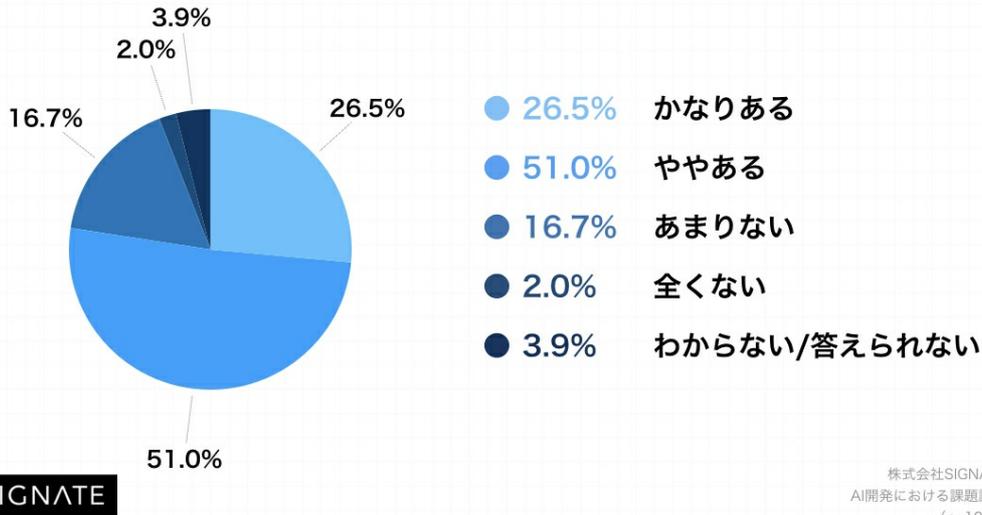
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

## 約8割が、AIの開発に携わる中で、「課題」や「壁」を実感

「Q1.あなたは、AIの開発に携わる中で、「課題」や「壁」を感じたことがありますか。」（n=102）と質問したところ、「かなりある」が26.5%、「ややある」が51.0%という回答となりました。

Q1

あなたは、AIの開発に携わる中で、「課題」や「壁」を感じたことがありますか。



Q1.あなたは、AIの開発に携わる中で、「課題」や「壁」を感じたことがありますか。

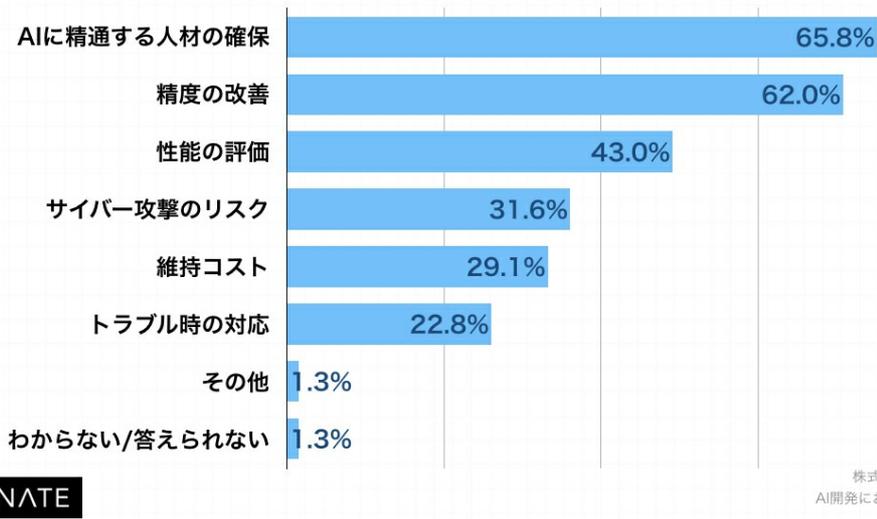
- ・ かなりある : 26.5%
- ・ ややある : 51.0%
- ・ あまりない : 16.7%
- ・ 全くない : 2.0%
- ・ わからない/答えられない : 3.9%

- ・ 感じたことがある課題・壁、「AIに精通する人材の確保」と「精度の改善」が6割超えて上位2つに

Q1で「かなりある」「ややある」と回答した方に、「Q2.AIの開発に携わる中で、どのような「課題」や「壁」を感じたことがあるか、教えてください。（複数回答）」（n=79）と質問したところ、「AIに精通する人材の確保」が65.8%、「精度の改善」が62.0%、「性能の評価」が43.0%という回答となりました。

Q2

AIの開発に携わる中で、どのような「課題」や「壁」を感じたことがあるか、教えてください。（複数回答）



Q2.AIの開発に携わる中で、どのような「課題」や「壁」を感じたことがあるか、教えてください。（複数回答）

- ・ AIに精通する人材の確保：65.8%
- ・ 精度の改善：62.0%
- ・ 性能の評価：43.0%
- ・ サイバー攻撃のリスク：31.6%
- ・ 維持コスト：29.1%
- ・ トラブル時の対応：22.8%
- ・ その他：1.3%
- ・ わからない/答えられない：1.3%

- ・ その他に感じたことのある課題・壁として、「求められる専門知識レベルの高さ」や「精度、性能の客観的な評価が難しい」など

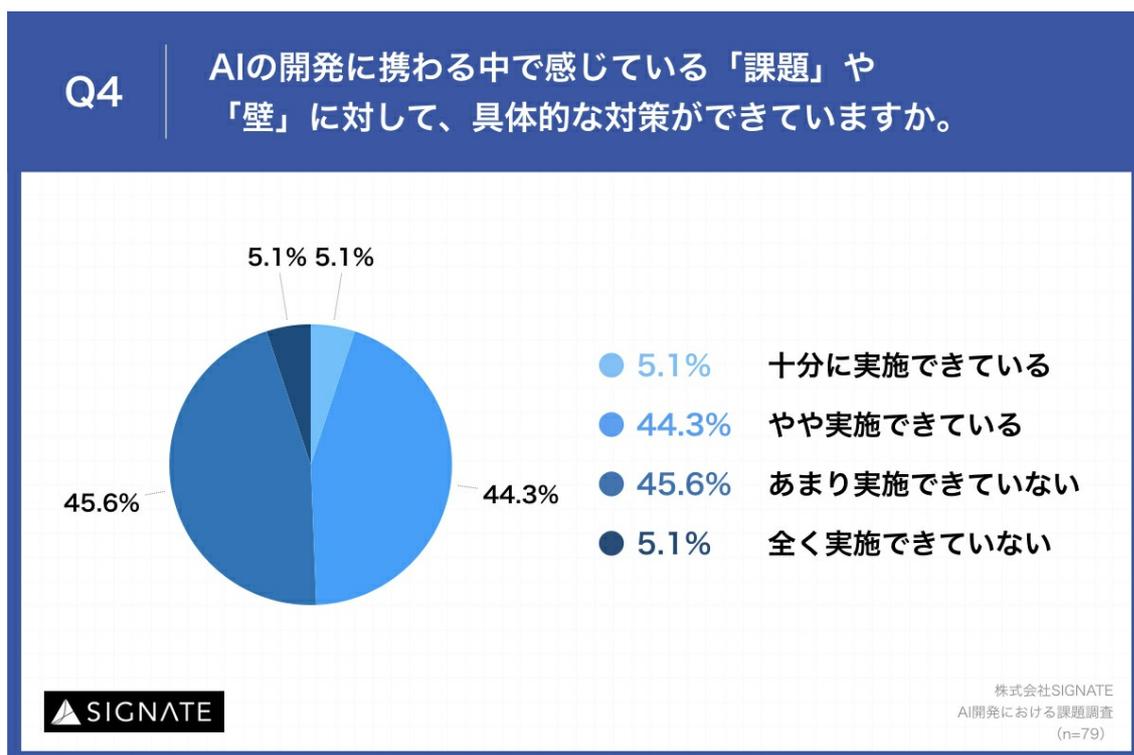
Q2で「わからない/答えられない」以外を回答した方に、「Q3.Q2で回答した以外に、AIの開発に携わる中で感じたことのある「課題」や「壁」があれば、自由に教えてください。（自由回答）」（n=78）と質問したところ、「求められる専門知識のレベルが高い」や「精度、性能の客観的な評価が難しい」など50の回答を得ることができました。

#### <自由回答・一部抜粋>

- ・ 47歳：求められる専門知識のレベルが高い。
- ・ 40歳：人材は少ない。
- ・ 43歳：精度のいいモデルを作るのが大変。
- ・ 55歳：精度、性能の客観的な評価が難しい。
- ・ 43歳：精度のいいモデルを作るのが大変。
- ・ 44歳：正確なのかがわからない

- ・ 半数以上が、感じている「課題」や「壁」に対して、具体的な対策が実施できていない

Q1で「かなりある」「ややある」と回答した方に、「Q4.AIの開発に携わる中で感じている「課題」や「壁」に対して、具体的な対策ができていますか。」（n=79）と質問したところ、「あまり実施できていない」が45.6%、「全く実施できていない」が5.1%という回答となりました。

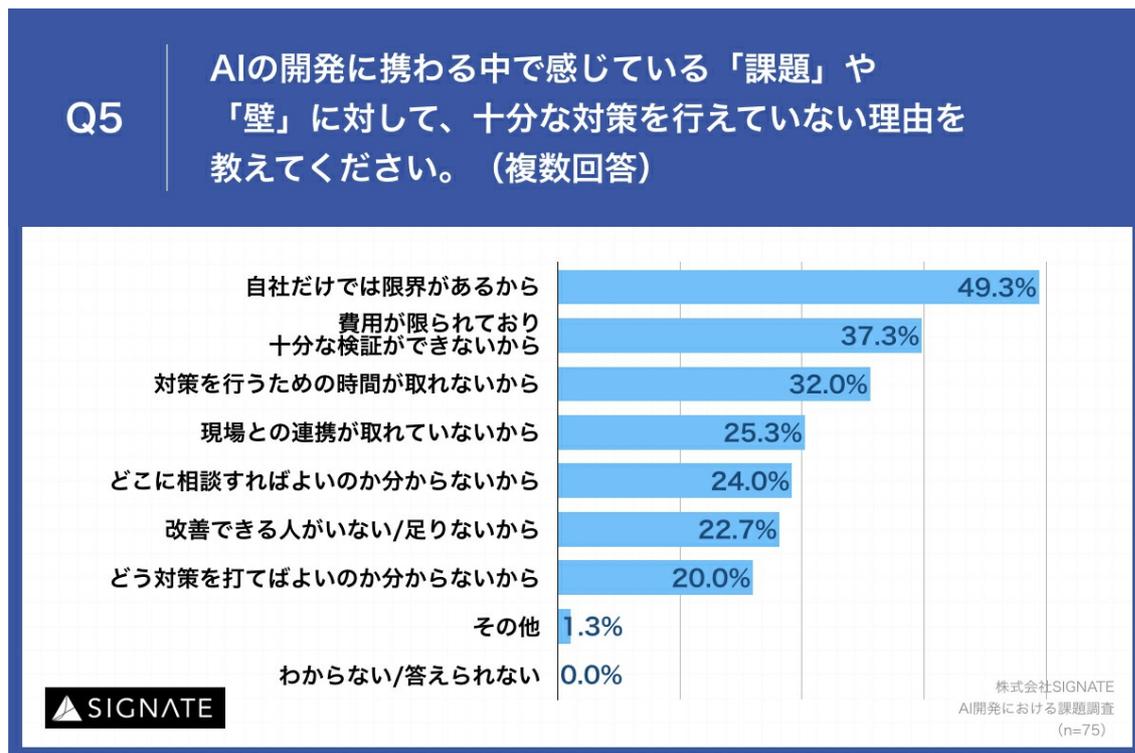


Q4.AIの開発に携わる中で感じている「課題」や「壁」に対して、具体的な対策ができていますか。

- ・十分に実施できている：5.1%
- ・やや実施できている：44.3%
- ・あまり実施できていない：45.6%
- ・全く実施できていない：5.1%

- ・十分な対策を行えていない理由、「自社だけでは限界があるから」が49.3%で最多

Q4で「十分に実施できている」以外を回答した方に、「Q5.AIの開発に携わる中で感じている「課題」や「壁」に対して、十分な対策を行えていない理由を教えてください。（複数回答）」（n=75）と質問したところ、「自社だけでは限界があるから」が49.3%、「費用が限られており十分な検証ができないから」が37.3%、「対策を行うための時間が取れないから」が32.0%という回答となりました。



Q5.AIの開発に携わる中で感じている「課題」や「壁」に対して、十分な対策を行えていない理由を教えてください。（複数回答）

- ・自社だけでは限界があるから：49.3%
- ・費用が限られており十分な検証ができないから：37.3%
- ・対策を行うための時間が取れないから：32.0%
- ・現場との連携が取れていないから：25.3%
- ・どこに相談すればよいのか分からないから：24.0%
- ・改善できる人がいない/足りないから：22.7%
- ・どう対策を打てばよいのか分からないから：20.0%
- ・その他：1.3%
- ・わからない/答えられない：0.0%

- ・十分な対策を行えていない理由、「全体像が見えていない」や「社内風土の問題」などの声

Q5で「わからない/答えられない」以外を回答した方に、「Q6.Q5で回答した以外に、AIの開発に携わる中で感じている「課題」や「壁」に対して、十分な対策を行えていない理由があれば、自由に教えてください。（自由回答）」（n=75）と質問したところ、「全体像が見えていない」や「社内風土の問題」など45の回答を得ることができました。

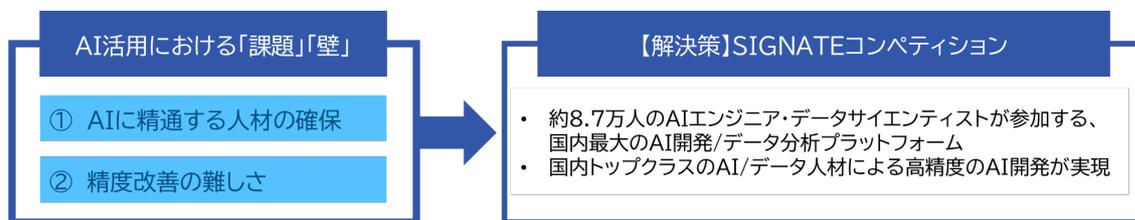
<自由回答・一部抜粋>

- ・ 33歳：全体像が見えていない。
- ・ 59歳：社内風土の問題。
- ・ 44歳：データを判断できる人材がいないため。
- ・ 46歳：自社用の環境を構築できない。
- ・ 55歳：人材の確保、教育。
- ・ 52歳：技術への対応力。
- ・ 41歳：社内での改善策がまだ整っていないことが現状にあると思う。

#### ● 調査結果のまとめ、および企業課題への処方箋（提言）

今回は、AI開発業務に携わる担当者102名を対象に、AI開発における課題調査を実施しました。約8割が、AI開発に携わる中で、AI活用において「課題」や「壁」を実感しており、特に「①AIに精通する人材の確保」や「②精度の改善」といった課題感を持っていることが浮き彫りになりました。しかし、「課題」や「壁」を実感しているにもかかわらず、自社だけでは限界があるなどの理由から、半数以上が十分な対策を行っていないようです。

株式会社SIGNATEでは、これら企業のAI課題を解決する1つの処方箋として、AI開発コンペティション（「SIGNATE コンペティション」）を提供しております。



#### 【SIGNATEコンペティションとは】

SIGNATEコンペティションは国内最大約8.7万人（2023年5月時点）のAIエンジニア・データサイエンティストが参加するAI開発コンペティションプラットフォームです。約8.7万人ものAI/データ人材が競争を通じて精度改善に取り組むことで、企業単独では困難な、国内トップクラス人材による高精度のAI開発が可能となります。これまでに非常に多くの企業、国・自治体にご利用いただき、様々なテーマのAI/データ課題の解決に取り組んでまいりました。

#### ▼本調査レポート資料のダウンロードはこちら

<https://go.signate.jp/material-dl-aidev>

#### ● SIGNATEとは (<https://signate.co.jp/>)

SIGNATEは“Empowering Your Potential”をミッションに掲げ、DX推進における「人が足りない」という社会課題の解決を目指すベンチャー企業です。約87,000人（2023年5時点）のAI/データ分析人材が登録する国内最大のデータサイエンスプラットフォーム『SIGNATE』を運営し、企業・行政機関とのマッチングを通して個人に対し「成長」と「活躍」の機会を提供するほか、DX推進のための人材育成クラウドサービス『SIGNATE Cloud』や、オープンイノベーション形式でAI開発/データ分析に挑む『SIGNATE Competition』、国や地方自治体のDX/AI人材発掘・育成プロジェクトなど複数の事業を展開しています。

#### ● 会社概要

会社名 : 株式会社SIGNATE（英文 SIGNATE Inc.）  
 設立 : 2017年5月1日  
 代表者 : 代表取締役社長CEO 齊藤 秀

所在地 : 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1KANDA SQUARE WeWork内

事業内容 : AI開発、開発コンペティション運営、ビッグデータ解析、データサイエンス教育研修、データサイエンティスト採用支援、ビッグデータ活用事業コンサルティング、AI関連ソフトウェア開発等

URL : <https://signate.co.jp/>

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000112.000038674.html>

株式会社SIGNATEのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/38674](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/38674)

---

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社SIGNATE 広報担当 田辺

Tel : 03-4361-2454

E-mail : [info@signate.co.jp](mailto:info@signate.co.jp)

---